



平成24年6月10日

Vol. 92

発行所 加来不動産(株)
発行者 加来 寛
小倉南区守恒本町一十二
二十三・一〇一
(093)九六二一五八一
<http://www.kaku-f.co.jp/>

不動産なんでも相談

Q. 自己所有の敷地内に隣の竹林から竹がはえてきたのですが、勝手に切ってもよいのでしょうか？

田舎に土地を所有しております。敷地はブロック塀で囲まれているのですが、となりの竹林からブロック塀を超えて自己所有の土地に竹がはえてきました。これは勝手に切ってもよいのでしょうか？それともやはり隣の所有者に声をかけて切ってもらったほうがよいのでしょうか？

A. まずは所有者に一声かけたほうがよいです。

しかし「根」は隣地所有者の承諾を得ずに切っても法的には問題ありません。

6歳の息子はたまに早起きするとわたしを起こして「さんぽにいこう」と言います。時間のゆるす限り一緒に早朝散歩をするのですが、天気の良い朝は朝日が美しく空気も澄んでおり、まるで違う場所にきたかのような錯覚になります。朝から得した気分です♪

(竹木剪除料後半)



はんなりと!?京都の文化にふれてきました♪

園田博美の感動体験!

社員研修旅行に行ってきました。今年の旅行先は、九州を脱出し憧れの地『京都』です。スタッフとその家族、そして今回は、以前、加来不動産で勤務されていた吉田初美さんが特別ゲスト(ナビゲーター)として参加して下さいました。吉田さんは、京都出身の上ツアーコンダクター顔負けの『旅のプラン上手』な方です。今回、右も左も分からないわたしたちの強い味方になって下さいました。京都と云いますと(ゆったり・ゆったり・はんなり)と時に身をゆだねるイメージがありますが限られた2日間でアレもコレも体験したいわたしたちは、かくして毎年恒例の弾丸ツアーとなりました。1日目は祇園を中心に世界遺産の東寺・八坂神社・京スイーツ・鴨川川床・舞妓さん・祇園下町散策のオンパレードです。こんなときは日頃の運動不足がたたりますね(笑)。その夜は、ホテルで全員ベッドに倒れこみました。2日目は嵐山方面へ。トロッコ列車・保津川下り・渡月橋・竹林の道・神社・天龍寺と1日目を増すハードスケジュールとなりました。しかし京都を語るには、まだまだ物足りない・・・それぞれの思いを胸に帰路に着きました。今回、限られた時間の中で色々な『京都』を体験させて下さいました吉田さんと加来不動産には大変感謝いたしております。魅惑の地『京都』にふたたび訪れる日もそう遠くない気がします。【お～きに～♪】

竹木剪除後半

■竹木剪除(せんじよ)とは

固い話から入ると、この問題は民法233条にある「竹木の剪除(せんじよ)請求権および截取(せっしゅ)権」に該当します。

剪除の「剪」の字は辞書では「つながつているものを断ったり、付いているものを離したりする」とあります。「除」は「とり除く」ということですね。

「截取」の「截」は「切る、きざむ・断つ」ということですから、竹木を切るように請求できる権利および切り取る権利、ということになります。



■「枝」と「根」は別

じつはこの民法上では、根つこは所有者に承諾なしで切ってもよい。しかし枝は勝手に切つてはダメです、となっております。

ですから相談者へのアドバイスとしては上記のような回答となります。

「じゃあ根つこは勝手に切つてしまえ」というのは問題ありませんが、少々気を付けていただきたいのは、はみだしてきた根つこの竹木が高価なもので、切ってしまったがために枯らしてしまうと権利の濫用となり得るので注意をしてください。



そして念のためですが「枝」は勝手に切つてはいけません。あくまでも「切つてほしい」という要望なり請求に留めておいてください。

■「枝」はなぜ切れないのか

「枝」と「根」との取扱いをなぜ別にしてあるのかですが、これは「根」と比較して「枝」のほうが高価な場合がある、ということになります。

(裏面へ) ↓

またそれに加え、「枝」であれば竹木所有者が隣地へ立ち入らなくても比較的簡単に切ることができ、勝手に切らずにまず竹木所有者に一声かけてください、ということ

「根」の場合は立ち入らなければ切ることができません。立ち入るといっても第三者の敷地には基本的に立ち入ることができないので、自分の敷地に隣地の竹木の「根」がはえてきた場合は、基本的には勝手に切ってもよいということになっていくようです。



■対策

竹の成長は早く一気にはびてきます。隣地からはみだしてきたタケノコが伸びても支障がない場所であれば一旦、となりの所有者に一声かけたほうがよいでしょう。

ですが伸びてきた場所が土地や建物に影響が出そうな場所の場合はひとまず切ってから声をかけてもよいのではないのでしょうか。

ただ、はみ出してはきてきたタケノコを切ったとしてもまた違うところからはえてくる可能性は高いです。防根シートなどを地中50センチ、60センチに埋めるなどの対策が必要かもしれません。

■まとめ

基本的にはまず感情的にならずに声をかけることからです。その後は相手の対応をみながら話をすすめ、話が平行線になりそうであれば法律に照らし合わせるとうよいと思います。

《編集 加来》

地域情報

★【ほっこりマルシェ vol.51】・ナチュラル志向のハンドメイド作家さんや雑貨屋さん・パン屋さん・お菓子屋さん・お花屋さんが大集合♪「ほっこり」と楽しい展示即売会を開催しますよ♪

◎日時：6月22日(金) 10時～15時 ※雨天実施
◎場所：このみクラブ (RKBハウジングパーク横) 小倉北区許斐1番地
◎問合せ先：(RKBハウジングパーク小倉) 093-5866-8585



先月グッときた本の紹介

加来の

著書は「心を成長させてくれる物語」「仕事や働くことから気づき、成長させてもらった物語」「家族や友人から成長させてもらった物語」「夢を追いかけている人から成長させてもらった物語」の4つの章からなっており、さらりと読めていた何かを思い出させてくれます。

『小さな幸せに気づく 24の物語』



中山 和義著 出版:フォレスト出版

本の表紙には「小さな幸せに気づける人が大きな幸せをつかむ！」と書いてあり、カバーをめくると「成功は約束されていないが、成長は約束されている！」という文章が目にとびこんできました。最近本当にそう感じます。なかでも心に響いた一説をご紹介します。【環境を自分の不幸の言い訳にするのは簡単ですが、その前に本当に環境だけが原因なのかを考える必要があります。幸せは環境にあるのではなく、心のありようで決まると思います。】ふと気づくと言いつけや人のせいにして自分がいます。しかしよくよく考えてみると自分の未熟さが原因だということが多々あります。他責にせず自分に原因があると謙虚に自分をふり返ることができれば、人間的にも成長するのだからと学ぶことができました。

感動日記

【加来寛の感動体験】

実はゴールデンウィーク前から息子(6歳)が病気で入院しておりまして。妻も付き添いだっただけ、わたしは4歳の娘と二人で生活をすることに。朝おきて食事のしたく、後片付け、娘の着替えやゴミだし、そして毎日ではありませんが娘のお弁当づくりや幼稚園への送り迎えや病院へお見舞い。帰ってから掃除洗濯などめまぐるしい日々を送りました。この間、スタップにはとても助けられました。おかげさまで息子は5月の半ば過ぎには無事に退院をし、いまではすっかり元気に過ごしております。入院中は家事と育児と仕事の三つ巴であたふたとしておりましてが、このことを通して妻への感謝の念と有難みが以前にも増しました。また娘の意外な一面が見れたり、いまわたしがこうして健康で家族と過ごせることは実は当たり前ではなく、とても幸せなことだと痛感いたしました。

【井料隆彦の感動体験】

みなさんは普段から運動されていますか？私は久しぶりに運動というのをしました。市内の不動産業者のみなさんが集まったのフットボール大会です。数年前をとった今、と

痛感させられました。自分で言うのもなんですが球技は得意なほうでしたので張り切ったので参加しましたが、驚くほどの動きませんでした。子供が動きませんでお父さんたちが一生懸命に走りながらも、気持ちばかりはやって足がもつれて転倒するという光景をケラケラ笑っていたのを懐かしく感じました。今は自分がそんな大人に……。そんな私は対照的に、他のみなさんの元気かつラップレディー活躍されている姿にとても感動しました。この年齢の人がこんなにも動いている！という場面を目の当たりにし、ヨシ！体を動かそうと、意気込んで今日このごろです。

【石川明人の感動体験】

5月初めのゴールデンウィークに日帰りですが妻と広島島の宮島に行ってきました。実は妻と遠方に足を運ぶのは今回が初めて。ワクワクしながら、また渋滞を覚悟しながら朝6時に家を出ました。少し混んだものの、スムーズに宮島へ到着。大河ドラマの影響もあって、たくさん観光客でいっぱいでした。しかし、神社・雅山・水族館などで楽しみ、名物のあなごや大きなカキをいただき二人で満悦。またラッキーなことに帰る頃には千潮のため鳥居の真下まで行くことができました。初の小旅行で希少な体験ができ二人とも大満足な一日でした。